

# 「青森市健康寿命延伸計画」における重点取組

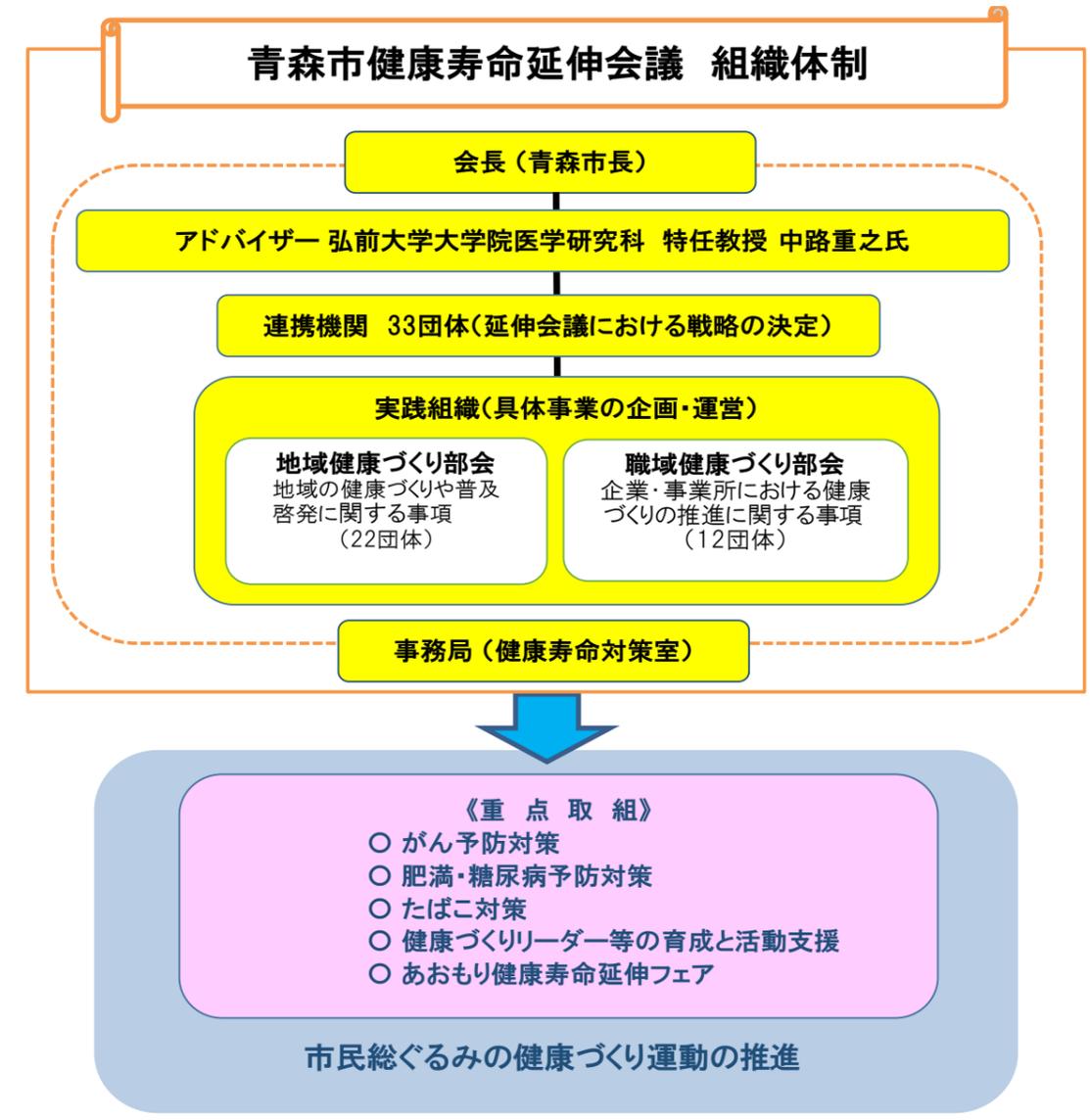
## ◆現状と課題

- 本市の平均寿命は、2015年では男性 78.9 歳、女性 85.7 歳と、ともに全国市町村の中でも依然下位に位置する状況にあります。
- 三大死因である、がん、心疾患、脳血管疾患による死亡率、及び糖尿病による死亡率が、全国と比較して高い状況で推移しています。

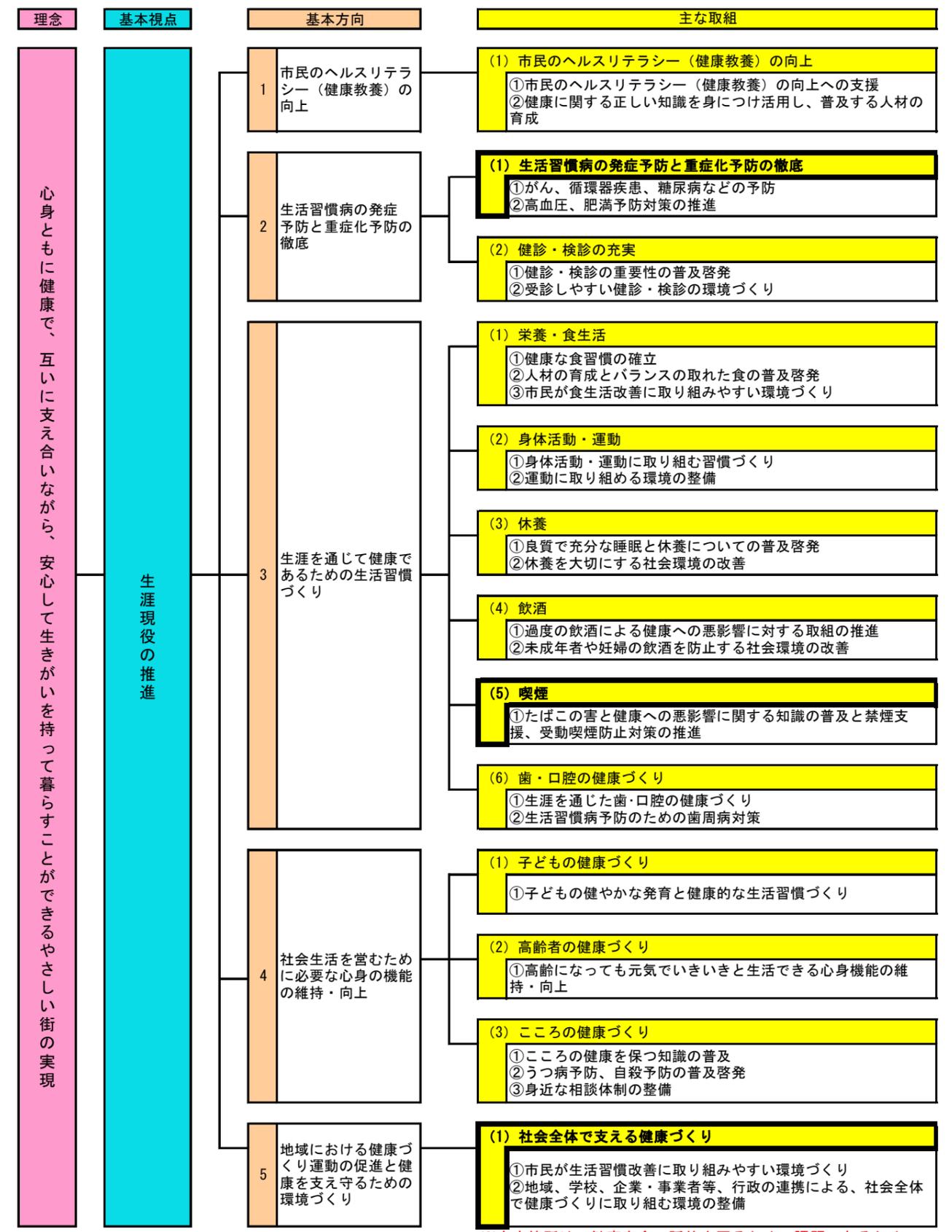
※青森市総合計画基本構想・前期基本計画より抜粋

## ◆健康寿命延伸を図るために

- 市民の更なる健康寿命の延伸に向け、保健・医療の関係団体、地域関係団体、学校、企業・事業者、行政等により組織した「青森市健康寿命延伸会議」と連携し、市民の健康と寿命に影響を及ぼす「がん」「肥満・糖尿病」「たばこ」に重点を絞り、地域・職域での健康づくりを推進する健康づくりリーダー等、健康づくりのための人材育成も行いながら、市民総ぐるみの健康づくり運動を強力に推進します。



## ◆計画の体系図



※太字箇所は、健康寿命の延伸を図るための課題であるため、「青森市健康寿命延伸会議」と連携し、重点的に取り組む。